

エントリー団体 No.1

岡山高等学校

スパイダーズ



UMEハウスでの児童との交流



活動期間 2020年2月～(年30回ほど活動)

構成人数 高校生10名

SDGsテーマ



推薦メッセージ

2020年のグループ結成から、「総合的な探究の時間」での設定課題や学びを実社会とつなげて多くの課題解決プロジェクトを立ち上げるとともに、様々な団体・企業との協働を行い社会にインパクトを与えるアクションを継続しています。

活動を通してメンバーも成長し、毎年新たに加入する後輩メンバーもグループを活性化させています。

岡山高等学校 校長 田中 広矛

活動内容

1. 「出張！みんなとあそび隊」

近隣学童保育に遊びと学びを届けるボランティアとして開始した活動を、現在はオンラインも活用しながら継続して行っている。

2. 「やめられない？とまらない？やめなきゃいけないフードロス！」

2021年8月と2022年8月に実施。フードロス削減の取り組みを行う企業・団体や県内高校生グループと協働し、両年とも全国学童保育施設から参加した約1,000名の児童にオンラインでの啓発イベントを提供した。

3. 多様な団体との協働

「児童」「SDGs」をキーワードに、これまでありがとうファーム・岡山市ESD推進課・岡山南警察署など様々な団体との協働企画を行ってきた。2023年度からは香川県坂出市川津小学校6年生総合学習授業にも参加している。



(坂出市立川津小学校 6年総合授業)

4. 「海のdesignコミュニティうらしま」から広げるまちづくり

4.1. UMEハウスうらしまとの交流

広島県尾道市浦崎町で空き家をリノベーションして開設した多世代の居場所に、スパイダーズが開設準備段階からかかわっていたことから現在も交流を続けている。

4.2. 「海のdesignコミュニティうらしま」

UMEハウスうらしま敷地内の空き倉庫をリノベーションしたワークスペースを拠点に、一般社団法人3710（みなと）ラボと連携して海洋環境デザイン教育プロジェクトを実施した。8月と12月に小学生・地域人材・関係人口としての外部人材での協働ワークショップを実施し、2023年2月には地域教育機関での探究学習と連携しての成果報告会を開催する。作成したzineの販売や成果物の紹介を通して浦崎町の海洋文化と再開発した地域資源を広く発信する。

4.3. 浦崎町のまちづくりへの接続

プロジェクトを通してUMEハウスならびに空き倉庫ワークスペースに多様な地域人材を呼び込み、多世代協働による地域活性化の基盤を形成する。スパイダーズ自身がプロジェクトを運営し地域との協働を行うことで浦崎町における関係人口のモデルケースを提示し、プロジェクト参画者としての関係人口増加とプロジェクトを通じた移住者増加を目指している。

01. 活動をはじめたきっかけ

日本の地方が抱えている課題に 取り組む若者や、地域を増やしたい。

地元というひとつの場所だけでなくさまざまな地域の方たちとつながりを作り、グループ名にもしている蜘蛛の糸のように広がりを持つ活動を行いそのスタイルをモデルケースにすることで、日本の地方のどんな場所も抱えている人口減少やコミュニティの希薄化という課題に、関係人口としてそれぞれの地域の方たちと一緒に楽しみながら取り組む若者が増えること、またそういった外部の人材も活用しながら外に開いた形で課題解決に取り組む地域が増えることを目指しています。

特にいま自分たちとかかわりを強く持っている小学生たちには、自分の住む地域のことも、外の地域のことも同じように考えて持続可能な社会作りを広い視野で行えるような人材になってもらいたいです。

02. 活動から学んだこと・感じたこと

何かを実行する際の大変さと共に、 みんなを笑顔にする企画を考える楽しさ

メンバーにはそれぞれ得意不得意があることに改めて気づきました。それぞれの得意を活かせるような活動を協働団体の方々と協力しながら進めていきました。みんなが笑顔になってくれるような企画を考えるのは楽しいことでしたが、ひとつのことを実行するにも様々な方がかかわっていることを知り、ものごとを動かす際の大変さを知りました。チームメンバー全員が知恵を出し合い、企画が成功した時はとても嬉しかったです。

高校生として児童教育や地域活性化に取り組むことで、大人が難しい言葉を並べて伝えるよりもダイレクトに子供たちや地域の方々に関心を持ってもらうことができたと考えています。

特に人口の流出や減少が大きな課題となっている中山間地域において、自分たちが地域外から関わることはそのまま関係人口を活用した地域づくりのモデルケースとなりうると考えています。

03. 継続するためのこれからの工夫

自分たちも楽しみながら活動することで
多様な人となつながら、継続していきたい

関係人口として新たな視点で地域の魅力と課題をとらえ、モットーとしている「自分たちも楽しみながら活動する」ことで多様な人となつながら継続して課題解決に取り組んでゆきたいと考えています。

活動を広げる中で当初は想定していなかった分野の方々と知り合う機会が多くなるのですが、そういった方々とお話することで常に新たな課題に触れることができています。

グループ結成当初の課題意識をコアとして持ちながら、新規プロジェクトを生み出し続けることでマンネリ化を防ぎ、3期生まで活動を引き継いできました。

現在の最新プロジェクトは市場で発生するロス食材を缶詰にして児童養護施設などに届けている一般社団法人コノヒトカンと協働で行う、フードロス削減啓発絵本制作です。

高校生ならではの視点を大切に、子供にも大人にも分かりやすい温かい絵本となるよう工夫しています。

活動の略歴

【2020年度・1期生】

- 2月 グループ結成・「出張!みんなとあそび隊」初回実施
- 5月 「みんなとあそび隊」オンライン開始
- 9月 高校生SDGsハワイオンラインミーティング
- 9月 尾道市浦崎町「UMEプロジェクト」とのオンライン交流開始
- 12月 京橋朝市出店（TFTうどん販売）
- 2月 高校生SDGs取組発表会「Be Live!」優秀賞受賞
- 3月 UMEハウスリノベーションワークショップ開催

【2021年度・1~2期生】

- 4月 学童保育対象フードロス削減オンラインイベント「やめられない?とまらない?やめなきゃいけないフードロス!」企画開始
- 5月 UMEハウスオープニングイベント参加
- 7月 岡山大学SDGsアンバサダー交流会参加
- 8月 「やめられない?とまらない?やめなきゃいけないフードロス!」実施
- 9月 コノヒトカンプロジェクトとの連携開始
- 10月 ありがとうファームとの連携開始・「オモテチョウ子ども秋まつり」出演
- 11月 「岡山高校生ボランティアアワード」一步一步がステキで賞受賞・岡山市民協働フォーラム登壇
- 12月 岡山南警察署善行少年表彰
- 2月 高校生SDGs取組発表会「Be Live!」最優秀賞受賞・山陽新聞社SDGsシンポジウム「食品ロス」登壇
- 3月 岡山大学「E-PBL AWARD ZERO」金賞受賞

【2022年度・2~3期生】

- 4月 UMEハウス「海のdesignコミュニティうらしま」開始
- 5月 『瀬戸内食ロス削減団』出版記念セミナー登壇
- 6月 うらさきZINE第1号完成
- 7月 香川県坂出市立川津小学校6年総合授業との協働開始
- 8月 「やめられない?とまらない?やめなきゃいけないフードロス!」実施
- 10月 「リサイクルフェア in くらしき2022」ステージ発表
- 11月 うらさきZINE第2号完成

【メディア関連】

- Radio Momo「天分発揮ラジオ」2020年4月~7月放送回出演（1期生）
- Radio Momo「輝くおかやま夢ガール」2021年4月出演（2期生）
- KSB瀬戸内海放送「高校生と見つける、私たちのSDGs」
2021年2月~3月放送回（1期生）・2022年5月~6月放送回（2期生）・2023年2月放送回（予定・3期生）
- 書籍『瀬戸内食ロス削減団』（クリエイツかもがわ）掲載